

悪性リンパ腫解析検査 (MLA)CD45 ゲーティング				P000028	
				担当部署	
ML フローサイトメトリー				病理	
検査オーダー					
患者同意に関する要求事項		該当なし			
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→分野別→染色体→			
	2				
	3				
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報		採取後 1 日以上経過したもの			
検査受付時間		8 : 15～16 : 00			
検体採取・搬送・保存					
患者の事前準備事項		手術、及び内視鏡、穿刺等の侵襲的検体採取では様々な準備が必要となるため、各々の担当医師、担当看護師等の指示に従う。			
検体採取の特別なタイミング		疾患診断時			
検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	新鮮組織（未固定）	H00	RPMI-1640 FBS 硫酸カナマイシン ノボヘパリン Na 炭酸水素 Na HEPES	5×5×5	mm
2	新鮮組織（未固定）	H20	FBS PBS 硫酸カナマイシン	5×5×5	mm
3					
4					
5					
6					
7					
8					
検体搬送条件		冷蔵			
検体受入不可基準		オーダーがない。			
保管検体の保存期間		保存不可。 受託可能日は月～金曜日で採取後速やかに提出			

検査結果・報告						
検査室の所在地		病院棟 3 階 病理診断科				
測定時間		2～4 日				
生物学的基準範囲		該当なし				
臨床判断値		図式化し報告				
基準値					単位	該当なし
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	
パニック値	高値	該当なし				
	低値	該当なし				
生理的変動要因		該当なし				
臨床的意義		悪性リンパ腫分類においては,LSG 分類等の形態学による分類が中心でしたが,1994 年に腫瘍発生母地に基づく REAL 分類が提唱されて以来,免疫学的表現型(表面マーカー)に解析も取り入れられて,欧米を中心に普及・定着していきます。本検査は,REAL 分類に基づき,CD45-SSC ゲーティング法により,多数の表面マーカーを用い迅速かつ客観的に解析できることから,悪性リンパ腫の分類・診断において有用と考えられます。				